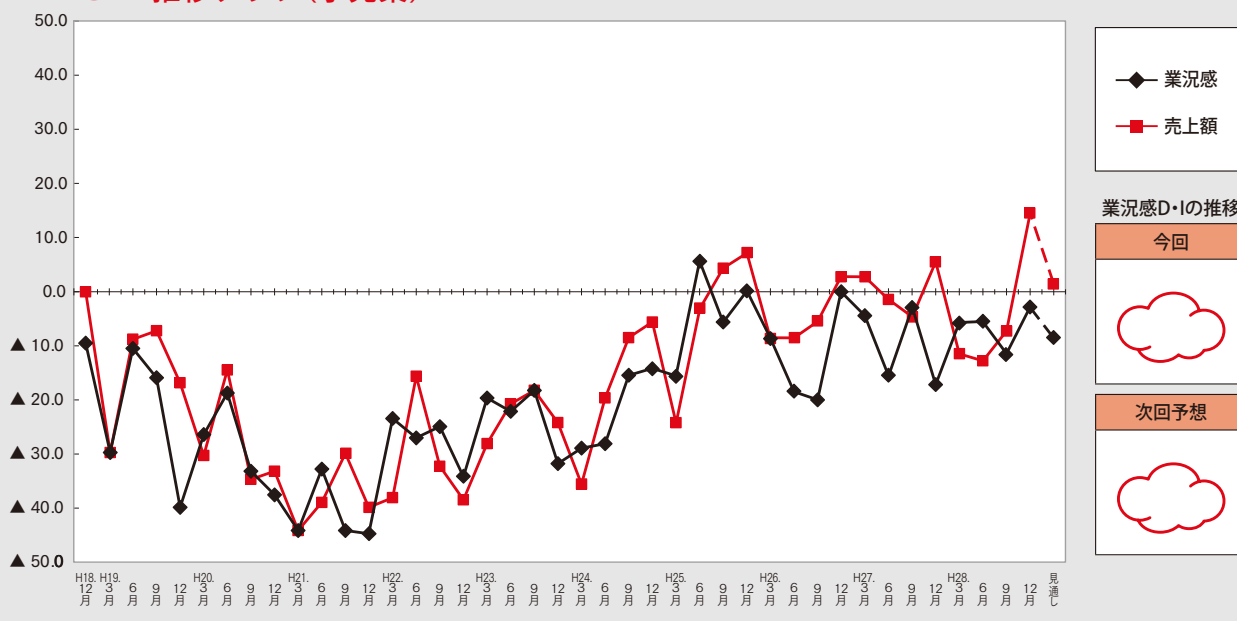


# 小売業

Retail trade

# 業況感再び改善

D・I推移グラフ(小売業)



## 1 今期 (平成28年10-12月期)

前期3期ぶりに悪化した業況感であるが、今期は▲2.9(前期▲11.4)となり、前期比8.5ポイント改善した。特に売上額(前期比21.6ポイント上昇)・収益DI(前期比17.2ポイント上昇)の改善が大きく、年末で販売価格がやや低下しているものの仕入価格の改善等の影響により、小売業全体としての業況感回復につながったものと思われる。

在庫はやや過剰感が増したものの、資金繰りは改善、雇用については繁忙期の影響から不足感が増す結果となった。

## 2 来期の予想 (平成29年1-3月期)

来期の業況感は▲8.6と再び悪化に転じる予想となっている。

今期大きく改善した売上額DIの悪化が大きく影響しており、売上額DIについては、DIプラスを維持しているものの、前期から比べると▲13.1ポイントもの大幅な悪化となった。その他の項目は、横ばいまたはやや改善となっている。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27. 12月期	H28. 3月期	H28. 6月期	H28. 9月期	H28. 12月期	来期 見込み
業況感	▲ 17.1	▲ 5.8	▲ 5.7	▲ 11.4	▲ 2.9	▲ 8.6
売上額	5.7	▲ 11.4	▲ 12.9	▲ 7.1	14.5	1.4
収益	1.4	▲ 11.4	▲ 11.4	▲ 7.1	10.1	2.9
販売価格	4.3	▲ 4.3	5.7	5.7	4.3	4.3
仕入価格	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 18.6	▲ 17.1	▲ 14.3	▲ 7.1
在庫	▲ 14.3	▲ 7.1	▲ 2.9	2.9	▲ 7.1	1.4
資金繰り	▲ 25.7	▲ 15.7	▲ 24.3	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 5.7
人手	14.3	2.9	14.3	7.1	12.9	11.4
設備状況	15.7	13.0	11.4	5.7	10.0	14.5

## 業況調査メモ

11月末、「ブラックフライデー」という言葉が小売業界で飛び交った。初めて耳にする人には世界恐慌を引き起こした「ブラックマンデー」を連想させたが、実際は米国発の大規模商戦のこと。感謝祭(11月の第4木曜日)の翌日にあたる金曜日を指し、小売店が黒字になることから「ブラックフライデー」(黒字の金曜日)と呼ばれている。九州でも福岡を中心に割引セールなどさまざまなキャンペーンが繰り広げられ、鹿児島でもイオンモール鹿児島などで行われたが、地元資本の小売店では導入がまだまだの感がある。鹿児島を代表する「黒」にちなんだアイデアを凝らしながら年末商戦を盛り上げたい。